

## 定 例 公 安 委 員 会

日 時：令和4年10月6日 10時00分～11時20分  
 出席委員：河合委員・那須委員・下村委員・藤森委員

### 1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出 席 者
1	令和4年度全国警察剣道・柔道大会への出場	警務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋警察部長 情報通信部長 警察学校長
2	秋の安全なまちづくり県民運動の実施	生活安全部	
3 報告	交通事故発生状況（令和4年9月末）	交通部	
4	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（令和4年9月中）	警備部	
5	警護警備の実施		

### 2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出 席 者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（18件）	総務部	公安委員会執務官
2 決定	自己情報開示請求に係る決定		
3 決裁	人事案件	警務部	警 務 部 長
4 報告	監察案件		首 席 監 察 官
5 報告	警察職員の援助派遣	警備部	公安第三課長
6 決定	聴聞等の実施結果・決定 66件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

## 議事の概要

柘植委員長が所用で欠席のため、河合委員が代行を務め議事を進行した。

### 1 全体審議

#### (1) 警務部

##### 令和4年度全国警察剣道・柔道大会への出場

警務部長から、

「令和4年度全国警察剣道・柔道選手権大会が、10月11日（火）から警視庁術科センターにおいて開催される。本県警察から剣道男子5人、剣道女子3人、柔道男子5人の計13人が出場する。」

旨の報告があった。

委員から、

「頑張っていたきたい。」

旨の発言があった。

#### (2) 生活安全部

##### 秋の安全なまちづくり県民運動の実施

生活安全部長から、

「『あいち地域安全戦略2023』に基づく、県民総ぐるみ運動の一環として、10月11日（火）から20日（木）までの10日間、『秋の安全なまちづくり県民運動』を実施する。」

運動重点は、

- 特殊詐欺の被害防止
- 侵入盗の防止
- 自動車盗の防止
- 子供と女性の犯罪被害防止
- 暴力追放運動の推進

である。

また、10月20日（木）、日本特殊陶業市民会館において、『安全なまちづくり愛知県民大会』を開催する。」  
旨の報告があった。

### (3) 交通部

#### 交通事故発生状況（令和4年9月末）

交通部長から、

「交通事故死者数は、9月中7人で前年同期比マイナス1人であった。

9月中の交通死亡事故の主な特徴としては、

- 名古屋市で多発
- 交差点内で多発
- 高速道路で多発

10月中の主な取組は、

- 年末に向けた交通事故抑止対策の強化「ラストスパート2022」
- 夕暮れ時対策（高齢者保護を中心とした取締りの強化）
- 通学路対策、ながらスマホ対策、速度抑制対策の強化
- 一斉取締り
- 速度取締りのL I V E配信（ツイッター等）による公開取締りの実施
- J1サッカーチームと連携した自転車教室等の開催
- 白バイの集中運用
- 高速道路対策

等である。」

旨の報告があった。

委員から、

「10月の対策の『広報啓発活動等』として、速度取締りにおいてSNSを活用した広報を初めて行うとのことであるが、自動車の速度抑制に向け、予防という面で有効だと思う。またフードデリバリーサービス配達員については、常々、仕事で急いで自転車等を利用しているので、講習会の開催は良い取組だと思う。しっかり広報していただきたい。」

旨の発言があった。

また、委員から、

「交通事故状況について、本当によく分析していただいている。各種の対策に活かした結果として、9月の交通死亡事故は7人に抑制できたと思う。年末に向けて職員一丸となって頑張ってもらいたい。」

さらに委員から、

「交通事故を無くしていくためには、自動車利用者に対する取組だけでは困難であり、歩行者や自転車利用者に対しても交通ルールを守るよう、しっかり啓発活動をしていくことが重要だと思う。」

旨の発言があった。

#### (4) 警備部

##### ア 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（令和4年9月中）

警備部長から、令和4年9月中の行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可について、

「令和4年9月中、10件の許可申請を受理して、全て許可した。」

旨の報告があった。

##### イ 警護警備の実施

警備部長から、

警護警備の実施

について報告があった。

## 2 個別審議

### (1) 公安委員会宛文書等の受理（18件）

公安委員会執務官から、

9月30日までに届いた公安委員会宛の文書等18件

について報告があり、公安委員会は、「警察官の言動に関する申出」及び

「警察官の対応に関する申出」を警察法79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査を指示する旨決裁した。

(2) 自己情報開示請求に係る決定

公安委員会執務官から、  
公安委員会宛の自己情報開示請求に係る決定案  
について説明があり、原案どおり決定した。

(3) 人事案件

警務部長から、  
人事案件  
について報告があり、同意した。

(4) 監察案件

首席監察官から、  
監察案件  
について報告があった。

(5) 警察職員の援助派遣

公安第三課長から、  
「沖縄県公安委員会から本県公安委員会に対して、警察法第60条第1項  
の規定に基づく警察職員の援助要求があり、本部長専決として所要の警察  
職員を派遣する。」  
旨の報告があった。

(6) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官から、  
運転免許取消処分に関する聴聞等結果  
について報告があり、行政処分を決定した。

66件



## 議事の概要

### 1 全体審議

#### (1) 警務部

第77回国民体育大会等の結果及び令和4年度中部管区内警察拳銃射撃競技大会への出場

警務部長から、

- 10月3日から栃木県において開催された第77回国民体育大会
- 10月11日から警視庁術科センターにおいて開催された令和4年度全国警察剣道・柔道選手権大会

の出場結果及び

- 10月18日、中部管区警察学校において開催される令和4年度中部管区内警察拳銃射撃競技大会

への出場

について報告があった。

委員から、

「国体の射撃競技で愛知県警察官が優勝したことは、すばらしい。」旨の発言があった。

#### (2) 地域部

中核を担う警察官に対する研修の実施

地域部長から、

「現在、地域部門において35歳以上45歳未満の警察官が3割以上を占めており、20年後には、約半数が50歳以上になる見込みである。また、今後の定年引上げにより、若手警察官の採用の減少が予想されることなどから、組織の執行力を維持するためには、若手と呼ばれなくなった世代の警察官が仕事に対するモチベーションを維持し続けることが必要不可欠である。

そこで、こうした教養の機会の少ない世代の警察官が、組織における自

己の役割を認識し、継続して学ぶ契機とするとともに、研修で学んだ内容を所属に還元させることにより、組織の活性化を図る。」  
旨の報告があった。

委員から、  
「対象者の選定は、すばらしい着眼点だと思う。更に対象者を選抜して重点的に教育するとなお良いと思う。」  
旨の発言があった。

また、委員から、  
「警察に限らず世の中も同じ状態にある。中堅の者を後継者に育てていくことが重要である。」  
旨の発言があった。

### (3) 交通部

#### 第52回全国白バイ安全運転競技大会の出場結果

交通部長から、  
10月8日（土）から10日（月）の3日間、茨城県ひたちなか市の自動車安全運転センターにおいて開催された第52回全国白バイ安全運転競技大会における出場結果  
について報告があった。

## 2 個別審議

### (1) 公安委員会宛文書等の受理（7件）

公安委員会執務官から、  
10月7日までに届いた公安委員会宛の文書等7件  
について報告があり、公安委員会は、「警察官の対応に関する申出」を警察法79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査を指示する旨決裁した。

(2) 県警公式 SNS の運用状況

広報課長から、

「県警では、時代の変化に合わせた新たな広報の形として、SNSを活用した直接広報に力を入れているところであり、各種媒体で県警公式アカウントを取得し、採用、防犯、交通安全、防災等、様々な警察情報を配信している。運用に際しては、広報課においてSNSに関するガイドラインを整備し、運用所属において運用ポリシーを作成してホームページ上に掲載するなど、適切な運用を行っている。」

旨の報告があった。

(3) 令和4年愛知県監査委員による定期監査の結果に対する措置状況

監査官から、

令和4年愛知県監査委員による定期監査の結果に対する措置状況について説明があり、決裁した。

(4) 人事案件

警務部長から、

人事案件

について報告があった。

(5) 犯罪被害者等給付金支給裁定(2件)

住民サービス課長から、

○ 重傷病給付金支給裁定

○ 障害給付金支給裁定

について説明があり、いずれも原案どおり裁定した。

(6) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、  
公安委員会宛の「犯罪捜査に関する苦情」について、調査結果の報告並びに申出者に対する通知文案の提示及び説明があり、原案どおり決裁した。

(7) 監察案件

首席監察官から、  
監察案件  
について報告があった。

(8) 令和4年度第2四半期監察実施結果

首席監察官から、  
令和4年度第2四半期における監察実施結果  
について報告があった。

(9) 行政訴訟の発生及び応訴

訟務官から、  
運転者区分決定に対する取消請求事件の発生及び応訴方針  
について説明があり、決裁した。

(10) 暴対法に基づく賞揚等禁止命令の発出に係る意見聴取の実施

捜査第四課長から、  
「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第30条の5第1項の規定による賞揚等禁止命令の発出に係る意見聴取を実施する。」  
旨の説明があり、決裁した。

(11) 交通事故統計外の事故（令和4年第3四半期）

交通事故対策官から、  
令和4年第3四半期における交通事故統計外の事故  
について報告があった。

(12) 放置違反金制度の現状

放置駐車対策センター所長から、  
放置違反金制度の現状  
について報告があった。

(13) ジブリパーク開園に伴う愛・地球博記念公園周辺道路の渋滞対策

交通規制課長から、  
「本年11月1日（火）、愛知県長久手市の愛・地球博記念公園内に開園する  
ジブリパークの来退園車両による周辺道路の交通渋滞が懸念される場所、  
管轄警察署と連携した渋滞緩和対策に取り組むこととする。」  
旨の報告があった。

(14) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官から、  
○ 運転免許取消処分に関する聴聞等結果 68件  
○ 銃砲の所持許可取消処分等に関する聴聞結果 2件  
について報告があり、行政処分を決定した。

## 定 例 公 安 委 員 会

日 時：令和4年10月20日 9時00分～12時00分

出席委員：柘植委員長・河合委員・那須委員・下村委員

### 1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	令和4年度警察消防殉職者慰霊祭の挙行	総務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長 警察学校長
2	定年引上げに係る制度の概要等	警務部	
3	犯罪被害者等支援活動に関する広報啓発活動の推進		
4	報告 刑法犯の認知・検挙状況（令和4年9月末）	刑事部	
5	嘱託警察犬審査会の開催		
6	秩父宮賜杯第54回全日本大学駅伝対校選手権大会開催に伴う交通対策及び雑踏警備の実施	交通部	
7	Σ（SGMA）連携交通死亡事故抑止対策の実施～4県合同出発式の開催～		

### 2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（3件）	総務部	公安委員会執務官
2	報告 外部通報の受理	警務部	住民サービス課長
3	決裁 苦情の調査結果		
4	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定（3件）		
5	裁決 行政文書不開示決定に対する審査請求		
6	裁決 運転免許停止処分に対する審査請求	交通部	訟 務 官
7	裁決 運転者区分決定に対する審査請求（3件）		
8	報告 ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施		
9	決裁 クロスボウの所持許可申請に対する処分の決定		保 安 課 長
10	決裁 公益財団法人暴力追放愛知県民会議の名称変更	刑事部	捜査第四課長
11	報告 警察署における運転免許証等の記載事項変更受付時間の変更	交通部	運転免許課長
12	決裁 対象重要施設における小型無人機等の飛行に関する公安委員会への通報	警備部	警備総務課長
13	決定 聴聞等の実施結果・決定 71件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

## 議事の概要

### 1 全体審議

#### (1) 総務部

令和4年度警察消防殉職者慰霊祭の挙行

総務部長から、

「11月2日(水)午後3時30分から、日本特殊陶業市民会館において、警察消防殉職者慰霊祭を挙げる。」

旨の報告があった。

#### (2) 警務部

ア 定年引上げに係る制度の概要等

警務部長から、

「令和3年6月に、地方公務員法等が改正されたことを受けて、愛知県においても、この度職員の定年等に関する条例等が改正され、定年が段階的に65歳まで引き上げられるほか、管理監督職勤務上限年齢制（役降り）等の制度が導入される。」

旨の報告があった。

委員から、

「問題は働く人の意識である。役降りした人も含めモチベーションを維持してもらわなければならない。うまく働いてもらえるように配置などで工夫してもらいたい。」

旨の発言があった。

イ 犯罪被害者等支援活動に関する広報啓発活動の推進

警務部長から、

「11月1日（火）から12月1日（木）までの間、犯罪被害者等支援活

動に関する広報啓発活動を推進し、犯罪被害者等が置かれている状況及び支援の必要性について県民の理解を深め、社会全体で犯罪被害者等を支える気運の醸成を図るとともに、民間被害者支援団体等が実施している犯罪被害者支援活動を広く県民に周知し、犯罪被害者等支援活動への参加を促進する。」

旨の報告があった。

### (3) 刑事部

#### ア 刑法犯の認知・検挙状況（令和4年9月末）

刑事部長から、令和4年9月末時点での刑法犯の認知・検挙状況（前年同期との比較）について、

- 「○ 刑法犯の認知件数は30,113件で、2,116件増加した
- 刑法犯の検挙件数は10,417件で、800件減少した
- 刑法犯の検挙率は34.6パーセントで、5.5ポイント減少した
- 刑法犯の検挙人員は8,368人で、850人減少した
- 重要窃盗犯の認知件数は2,557件で、317件増加した
- 重要窃盗犯の検挙件数は854件で、10件減少した
- 重要窃盗犯の検挙率は33.4パーセントで、5.2ポイント減少した
- 重要窃盗犯の検挙人員は284人で、30人減少した
- 特殊詐欺の認知件数は666件で、35件減少した
- 特殊詐欺の検挙件数は302件で、6件減少した
- 特殊詐欺の検挙率は45.3パーセントで、1.4ポイント増加した
- 特殊詐欺の検挙人員は110人で、1人減少した」

旨の報告があった。

#### イ 嘱託警察犬審査会の開催

刑事部長から、

「11月1日（火）及び同月2日（水）に、嘱託警察犬審査会を開催し、令和5年中に嘱託する民間の訓練犬と、その指導手となる訓練士を選出するため、その能力及び技術について審査を行う。」

旨の報告があった。

#### (4) 交通部

##### ア 秩父宮賜杯第54回全日本大学駅伝対校選手権大会開催に伴う交通対策及び雑踏警備の実施

交通部長から、

「秩父宮賜杯第54回全日本大学駅伝対校選手権大会の開催に伴い、所要の交通対策及び雑踏警備を実施する。

駅伝開催日の11月6日（日）は、午前8時5分スタートのため、午前7時40分から交通規制を開始し、スタート地点である熱田神宮西門前及び第1中継所である港区藤前公園手前において雑踏警備を実施する。」旨の報告があった。

##### イ Σ（SGMA）連携交通死亡事故抑止対策の実施～4県合同出発式の開催～

交通部長から、

「全国的に死亡事故含む人身交通事故が減少しているものの、物流の回復基調に伴い交通量が増加し、特に県内の高速道路では、社会的反響が大きい交通死亡事故が連続発生したところである。

高速道路網は全国に連結されていることから、隣接県（静岡、岐阜、三重）との連携を再確認するとともに、広域的な交通事故抑止対策を推進する。10月24日（月）は、新東名高速道路岡崎サービスエリアヘリポートにおいて出発式を行い、その後各県において交通指導取締り等を実施する。なお、SGMA（シグマ）は各県のアルファベット頭文字から命名し、Σは総和を表す。」

旨の報告があった。

委員から、

「『SGMA』は良いネーミングだと思う。是非マスコミメディアを活用して対策を周知してほしい。」

旨の発言があった。

## 2 個別審議

### (1) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、  
10月17日までに届いた公安委員会宛の文書等3件  
について報告があり、決裁した。

### (2) 外部通報の受理

住民サービス課長から、  
外部通報の受理  
について報告があった。

### (3) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、  
公安委員会宛の「警察官の言動に関する苦情」について、調査結果の報告並びに申出者に対する通知文案の提示及び説明  
があり、原案どおり決裁した。

### (4) 犯罪被害者等給付金支給裁定（3件）

住民サービス課長から、  
○ 重傷病給付金支給裁定  
○ 遺族給付金支給裁定（2件）  
について説明があり、いずれも原案どおり裁定した。

### (5) 行政文書不開示決定に対する審査請求

訟務官から、行政文書不開示決定に対する審査請求について、  
請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明

があり、原案どおり裁決した。

(6) 運転免許停止処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許停止処分に対する審査請求について、請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明があり、原案どおり裁決した。

(7) 運転者区分決定に対する審査請求（3件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求3件について、請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明があり、いずれも原案どおり裁決した。

(8) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施

人身安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施について、

「令和4年9月中は、待ち伏せ、押し掛け等を理由に2件の緊急禁止命令等を実施した。また、面会等要求、粗野又は乱暴な言動等を理由に16件の警告を実施した。」

旨の報告があった。

(9) クロスボウの所持許可申請に対する処分の決定

保安課長から、

「令和4年3月15日に施行された銃砲刀剣類所持等取締法の一部を改正する法律により、一定の用途（標的射撃、動物麻酔等）に供するため規制対象のクロスボウを所持しようとする者は、クロスボウごとに、都道府県公安委員会の許可を受けなければならなくなったため、許可の申請がなされた。」

旨の説明があり、決裁した。

(10) 公益財団法人暴力追放愛知県民会議の名称変更

捜査第四課長から、

「公益財団法人暴力追放愛知県民会議は、暴力団対策法第32条の3に基づき、県下の暴力追放運動の推進母体として設立された団体である。県民総ぐるみによる総合的な暴力団対策を推進していくという趣旨から、「県民会議」の名称で設立し、活動してきたが、設立30周年を機に、法で規定する名称に合わせ「公益財団法人愛知県暴力追放運動推進センター」に名称を変更する。この名称の変更に伴い、愛知県公安委員会告示の名称変更に係る一部改正を行う。」

旨の説明があり、決裁した。

(11) 警察署における運転免許証等の記載事項変更受付時間の変更

運転免許課長から、

「警察署における運転免許証又は運転経歴証明書の記載事項変更受付時間を短縮し、運転免許事務の合理化等を図る。」

旨の報告があった。

(12) 対象重要施設における小型無人機等の飛行に関する公安委員会への通報

警備総務課長から、

重要施設の周辺地域の上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律に基づく対象施設における小型無人機等の飛行に関する公安委員会への通報の概要

について説明があり、決裁した。

(13) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官から、

○ 運転免許取消処分に関する聴聞等結果

69件

○ 風俗営業許可の取消処分等に関する聴聞結果 2件  
について報告があり、行政処分を決定した。

## 定 例 公 安 委 員 会

日 時：令和4年10月27日 9時00分～11時10分

出席委員：河合委員・那須委員・下村委員・藤森委員

### 1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出 席 者
1	児童相談所との合同訓練の実施	生活安全部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長
2	主要事件の検挙（2件）		
3	F I A世界ラリー選手権（WRC）ラリージャパン2022の開催	交通 部	生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長
4	主要事件の検挙	警 備 部	交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
5	令和4年度内閣府・愛知県・常滑市地震・津波防災訓練への参加、令和4年度中部管区広域緊急援助隊合同訓練への参加		
6	11月の行事予定[書面報告]	警 務 部	警 察 学 校 長

### 2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出 席 者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（4件）	総 務 部	公安委員会執務官
2 報告	愛知県監査委員等による令和5年定期監査の実施		監 査 官
3 裁決	運転免許取消処分に対する審査請求	警 務 部	訟 務 官
4 裁決	運転免許停止処分に対する審査請求		
5 裁決	運転者区分決定に対する審査請求（3件）		
6 報告	栄地区における歓楽街集中対策の実施～官民一体による環境改善に向けた取組～	生活安全部	生活安全総務課長
7 決裁	対象重要施設における小型無人機等の飛行に関する公安委員会への通報	警 備 部	警備総務課長
8 報告	警察職員の援助派遣		公安第三課長
9 決定	聴聞等の実施結果・決定 59件	総 務 部	首席聴聞官

## 議事の概要

柘植委員長が所用で欠席のため、河合委員が代行を務め議事を進行した。

### 1 全体審議

#### (1) 生活安全部

##### ア 児童相談所との合同訓練の実施

生活安全部長から、

「虐待児童を迅速的確に保護するためには児童相談所との連携が不可欠であることから、11月17日（木）は愛知県児童相談所と、11月2日（水）は名古屋市児童相談所との合同訓練をそれぞれ実施し、現場対応能力の向上及び相互の連携強化を図る。」

旨の報告があった。

委員から、

「過去、全国において痛ましい事件が発生している。同様の事件が再び起こらないようにしっかりとやっていただきたい。」

旨の発言があった。

また、委員から、

「過去の事例では、児童相談所においてももう少しできることがあったのではないかというケースがあった。警察が連携していくことで同様の事件等が起きないようにしていただきたい。」

旨の発言があった。

##### イ 主要事件の検挙（2件）

生活安全部長から、

○ 無承認医薬品販売に係る医薬品医療機器等法違反事件の検挙概要

○ オーディション商法に係る特定商取引法違反事件の検挙概要

について報告があった。

委員から、オーディション商法に係る特定商取引法違反事件の検挙について、

「今回の件は、新聞等でも報道されていたが、引き続き、マスメディアを活用するなどして啓発活動を続けてもらいたい。」旨の発言があった。

また、委員から、

「民法が改正され成人年齢が18歳に引き下げられたことにより、社会的経験が少ない人を対象にこの手の犯罪が増えると思う。今回の様な検挙活動を今後もしっかりやってほしい。」旨の発言があった。

## (2) 交通部

### F I A世界ラリー選手権（WRC）ラリージャパン2022の開催

交通部長から、

「国際自動車連盟（F I A）が創設したラリー競技の最高峰である世界選手権が11月10日（木）から同月13日（日）の4日間、愛知県及び岐阜県で開催されるため、所要の安全対策等を実施する。」旨の報告があった。

## (3) 警備部

### ア 主要事件の検挙

警備部長から、

右翼団体幹部らによる道路交通法（許可条件）違反の検挙概要について報告があった。

イ 令和4年度内閣府・愛知県・常滑市地震・津波防災訓練への参加  
令和4年度中部管区広域緊急援助隊合同訓練への参加

警備部長から、

「南海トラフ地震等の大規模災害発生時における部隊の現場対処能力の向上及び関係機関との連携強化を目的とし、

○ 11月6日（日）、常滑市内において実施される令和4年度内閣府・愛知県・常滑市地震・津波防災訓練

○ 11月7日（月）から同月8日（火）までの間、岐阜県において実施される令和4年度中部管区広域緊急援助隊合同訓練

について、それぞれ愛知県警察も参加する。」

旨の報告があった。

#### (4) 警務部

11月の行事予定（書面報告）

警務部から、

11月の行事予定

について書面報告があった。

## 2 個別審議

### (1) 公安委員会宛文書等の受理（4件）

公安委員会執務官から、

10月21日までに届いた公安委員会宛の文書等4件

について報告があり、公安委員会は、「警察官の対応に関する申出」を警察法79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査を指示する旨決裁した。

### (2) 愛知県監査委員等による令和5年定期監査の実施

監査官から、

「令和4年度における財務に関する事務及び事務事業の執行全般を監査対象項目として、監査委員監査及び監査委員事務局監査が実施される。」

旨の報告があった。

(3) 運転免許取消処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許取消処分に対する審査請求について、請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明があり、原案どおり裁決した。

(4) 運転免許停止処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許停止処分に対する審査請求について、請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明があり、原案どおり裁決した。

(5) 運転者区分決定に対する審査請求（3件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求3件について、請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明があり、いずれも原案どおり裁決した。

(6) 栄地区における歓楽街集中対策の実施～官民一体による環境改善に向けた取組～

生活安全総務課長から、

「県内最大の歓楽街である栄地区では、飲食客や来日外国人等の増加が見込まれる中、飲食店等への客引きのほか、違法看板、放置自転車等、犯罪を誘発し、街の景観を害する環境の悪化が懸念される。

そこで、健全で魅力あふれる歓楽街を目指し、地域住民、自治体等と協働し、歓楽街の環境改善に向けた各種活動を集中的に実施する。」

旨の報告があった。

(7) 対象重要施設における小型無人機等の飛行に関する公安委員会への通報

警備総務課長から、

重要施設の周辺地域の上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律に基づく対象施設における小型無人機等の飛行に関する公安委員会への通報の概要

について説明があり、決裁した。

(8) 警察職員の援助派遣

公安第三課長から、

「兵庫県公安委員会から本県公安委員会に対して、警察法第60条第1項の規定に基づく警察職員の援助要求があり、本部長専決として所要の警察職員を派遣する。」

旨の報告があった。

(9) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官から、

- |                        |     |
|------------------------|-----|
| ○ 運転免許取消処分に関する聴聞等結果    | 58件 |
| ○ 風俗営業等許可の営業停止に関する聴聞結果 | 1件  |

について報告があり、行政処分を決定した。